

府縣	反政黨派	全国労働大黨派
北海道	1,500	1,500
青森	1,000	1,000
秋田	5,300	5,300
山形	50	1,500
宮城	1,500	1,500
福島	170	900
茨城	900	900
栃木	2,000	2,000
群馬	200	500
東京	1,100	2,100
埼玉	150	150
山梨	30	255
長野	500(解散)	2,500
新潟	300	700
静岡	4,700	4,700
愛知	881	2,300
岐阜	1	3,500
富山	292(解散)	3,500
石川	1	250
福井	1	250

三重	594	600
京都	1,200	1,200
奈良	1,000	1,000
大阪	1,539	1,539
和歌山	1,539	1,539
兵庫	359	359
岡山	1,086	1,086
広島	1,086	1,086
山口	140	140
島根	100	100
鳥取	100	100
徳島	950	950
高知	180	300
愛媛	180	300
大分	86	300
福岡	1,086	300
熊本	230	300
鹿児島	321	300
計	8,952	37,140

尚ほ、右表のうちに解體された縣聯合會は富山、山梨、山形、東京等であつて、従つて反對派の勢力は僅か八千九百名であり、

市町村農會總代選舉は、本年四月初旬を期して、殆んど全国に行はれた。我が黨農村委員會は、上は帝國農會から町村農會に至る系統的農會の階級性を徹底的に暴露し、かゝる反動的農會は廢止すべしと云ふ目標で、この選舉戦を「戰闘的農民代表による農占領のメロークアンを高揚し、積極的に選舉戦を戦ひ

三、農會選舉戰績

その結果、全国を地方に於いて壓倒的勝利を獲得した。その戦績の報告を直ちに我が委員會は各府縣聯合會に對して要求したるも、その報告に接したるは以下數府縣聯合會にすぎぬ。従つて、本報告ありたる地方のみを掲載したものであるから、實績は恐らく、次に示された數字の約十倍の多きに達するであらう。

農會總代選舉成績表

地名	當選者數
秋田縣 鹿角	一二

新潟縣 上越	九八
茨城縣	一一
長野縣	一七
岐阜縣 東濃	九
和歌山縣	二
徳島縣	七二
高知縣	二二
計	三四一

四、農村委員會會議

黨農村委員會國會議を左の如く開會せり。

一、日時 昭和六年十一月三日

一、場所 黨本部會議室

一、出席・田所、角田(中央部)、稻村隆一、三宅正一、石田有全(以上新潟)、大森大八(栃木)、菊地金作(茨城)、山崎劍二(静岡、渡邊剛清(關西)、高橋賢一郎(埼玉)、黒田に男(千葉)、外數名